

平成29年度 第2次筆記試験 事例IV (解答用紙)

素晴らしいです。3つの切り口で答えられています。負債比率の数値は惜しかったです。自己資本=純資産-非支配株主持分-新株予約権、を理解しておきましょう。

第1問 (配点 25点)

(設問1)

13/15  
13点

	a	b
① 売上高総利益率	○ 12.70 (%)	
② 負債比率	✗ 403.14 (%)	
③ 棚卸資産回転率	○ 22.95 (回)	

〈好策〉 売上  
非支配株主持分  
を自己資本から除く!

文字数が40字と少なく、それに財政状態と経営成績に3つの視点(収益性、効率性、安全性)を加味する難しい問題でした。効率性の説明がやや不足しましたね。

(設問2)

2/10  
7点

③

価格とコストが適正でなく、長期借入金が多	③
いため収益性、安全性が低いが効率性は高い。	③

財政状態(安全性)の表現で良息を答えよ  
経営成績(収益性)の表現で(注)のこと

第2問 (配点 18点)

(設問1)

5/5  
5点

(単位: 百万円)

売上高	( 3879 )
売上原価	( 3310 )
売上総利益	( 569 )
販売費及び一般管理費	( 270 )
営業利益	( 299 )

素晴らしいです。ここで得点をするのが大切です! 販管費は変化しないことがポイントですね。

(設問2)

5点 5/5

-244	百万円
------	-----

素晴らしいです。表の解釈で考えてしまいますが、シンプルに解答されてOKです。

(設問3)

8/8  
8点

再来年度以降の 予想営業利益	250	百万円
最低売電単価	27	円/kWh

素晴らしいです。最低売買単価も素直に解釈して解かれましたね。設問の制約条件に従い、円単位で解答できていますね。

総評：よく出来ています。H29は難易度が高かったですが、前半はほぼパーフェクトでした。第3問は時間があれば得点できていました。これからは時間配分も考慮し、得点を取れるところに集中するようにして下さい。また、ミスなどでの失点を防ぐことも大切です。令和2年度AAS通信コース講座資料

第4問の記述は点差が開く問題です。事例企業の問題や課題は事例中で解決する意識を持ち、第1問で指摘した課題のある指標と関連がないかを考えましょう。また、与件情報の活用、一次知識の定着と活用も図って行きましょう。

受験番号	氏名	赤ペン添削	青ペン添削

第3問 (配点 29点)

(設問1)

差額CFなど慣れない文言で戸惑ったかもしれませんが。まず、旧設備の場合、新設備の場合という具合に分けて考え、その差を計算して差額を出しますが、除却損や処分費の節税効果を考えねばならず、難しいですね。除却損はキャッシュの移動が起こりませんから、減価償却費のように足し戻してCFを計算します。

各年度のCFは出来ていますね。素晴らしいです！

第X1年度末における差額キャッシュフローの計算		各年度の差額キャッシュフロー	
項目	金額		金額
税引前利益の差額	( )	第X1年度初め	( Δ210 )
税金支出の差額	( )	第X1年度末	( 76 )
税引後利益の差額	( )	第X2年度末	( 58 )
非現金支出項目の差額	( )	第X3年度末	( 58 )
第X1年度末の差額キャッシュフロー	( 76 )	第X4年度末	( 58 )
		第X5年度末	( 58 )

注 金額欄については次のとおり。

1. 単位は百万円。2. マイナスの場合にはΔを付すこと。各年度のCFは出来ているのにもったいないですね。設問1で時間を使ったかもしれませんね。

(設問2)

	指標名	数値 (単位)
安全性		( )
収益性		( )

時間不足で見送り、時間内で判断して○すべからずと  
→ 指標名も書き直し

とにかく○を付けましょう。当たれば2点です。これは大きいですよ。

判断	設備更新案を (採用する・採用しない) どちらかを○で囲むこと
----	---------------------------------

第4問 (配点 28点)

(設問1)

D社単体では子会社の利益64百万を除くため = 37百万円の赤字。
--------------------------------------

表現  
当期純利益損失

連結会計を理解されていますね。

(設問2)

100%株式保有で非支配株主損益が無くなり 当期純利益は増える。
-------------------------------------

対策 → 損益状況の良悪を把握する

そうですね、第1問の指標で課題である自己資本率が悪化します。与件第4段落にもヒントがありました。

(設問3)

影響は①統制の幅が広がり営業、生産面の課題解決に向け全社最適の資源配分ができ、各社の風土の違いで従業員の士気が低下する。
--

（借入金の増加(利益率以外の観点)に着目できなかった)  
対策 → 小会社化 = 資産負債収益率を上げることと覚えよ

X1111、デメリットの口  
①② 妥当だと思いが  
レイヤーが厚いラッシュ悪い  
① 経営  
② 組織 ため各2点

AAS (アソシエ・アドバンス・スクール) は中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。

<https://www.aas-clover.com/>

おっしゃりたいことは理解できますが、うまく解答に落とし込めませんでしたね。メリットは意思決定迅速化などもありますね。一次知識の定着、活用を図りましょう。

13  
/17  
13点

0/12  
0点

4/7  
5点

0/7  
0点

5/14  
メリット  
デメリット

5点